

「食道癌切除後の胃管再建における頸部静脈への 静脈吻合付加」の臨床研究へのご協力をお願い

食道癌切除後、胃管による再建は広く行われています。

しかし、胃管断端の血流の障害により、縫合不全や狭窄などを生じることが報告されています。

胃管断端の血流の改善のため、当科では2015年より、頸部への静脈吻合を行ってきました。本調査では、静脈吻合を追加した症例、および2015年以前の追加していない症例を比較し、術後の合併症を検討します。

本研究では、2014年4月～2018年4月までの間、食道癌切除後、胃管での再建術を受けた患者さんを対象に、診療記録から情報を分析いたします。この調査結果を日常の診療に役立てることを目指しており、学会等で発表、報告を行う予定にしております。

本研究は日常診療で得られた臨床データを集計する研究であり、これにより患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究に扱う情報は個人情報を切り離して、個人が特定されない形で、厳重に扱います。

皆さんの貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。

本研究に関する研究計画書および研究の方法に関する資料を入手又は閲覧されたい方、もしくはご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方は、下記の連絡先までご連絡ください。

連絡先：〒856-8562 長崎県大村市久原2丁目1001-1

国立病院機構長崎医療センター 形成外科 福井季代子

☎ 0957-52-3121 (代表)